

令和3年度 市民満足度調査及び 高校生アンケート調査結果 (概要版)

目次

I. 市民満足度調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査内容	1
(3) 調査の対象・調査方法	1
(4) 調査実施時期	1
(5) 調査票回収状況	1
II. 市民満足度調査の結果概要	2
(1) 出雲市の住みやすさ・定住意向	2
(2) 市の施策・取組についてのニーズ度（重要度・満足度）	3
(3) ニーズマップ	5
III. 高校生アンケート調査の概要	7
(1) 調査目的	7
(2) 調査内容	7
(3) 調査の対象・調査方法	7
(4) 調査実施時期	7
(5) 調査票回収状況	7
IV. 高校生アンケート調査の結果概要	8
(1) 出雲市に愛着や魅力・誇りを感じるか	8
(2) 出雲市への定住意向	8
(3) 将来の出雲市について	11

令和3年12月

出雲市 総合政策部 政策企画課

I. 市民満足度調査の概要

(1) 調査目的

出雲市の施策や取組に対する重要度や満足度、定住意向などについて、市民の意識を把握し、現行計画の評価や次期総合振興計画策定のための基礎資料とします。

(2) 調査内容

- 個人属性（性別、年齢、国籍、居住地域、居住年数）
- 出雲市の住みやすさ、定住意向
- 市の施策・取組についての重要度、満足度（全61項目）
都市基盤・機能（11項目） / 産業・経済（9項目） / 教育・文化（9項目）
健康・福祉（8項目） / 生活環境（7項目） / 安心・安全（5項目）
まちづくり、行政サービス（12項目）
- 市の施策や取組のうち、今後特に重要で、かつ不十分であると思う項目、
またその理由
- 思い描く出雲市の将来像を表すキャッチコピー、言葉
- 自由意見

(3) 調査の対象・調査方法

市内在住の18歳以上の方（外国人住民含む）の中から無作為に抽出した4,000名
市民満足度調査票を郵送にて配布、無記名で回答いただき、WEBまたは郵送にて回答

(4) 調査実施時期

令和3年（2021）9月24日～10月10日

(5) 調査票回収状況

送付数	回収数	回収率
4,000	1,718	43.0%

※内訳 郵送回答 1,188(日本語 1,178 / ポルトガル語 8 / 英語 2)
WEB回答 530(日本語 515 / ポルトガル語 15 / 英語 0)

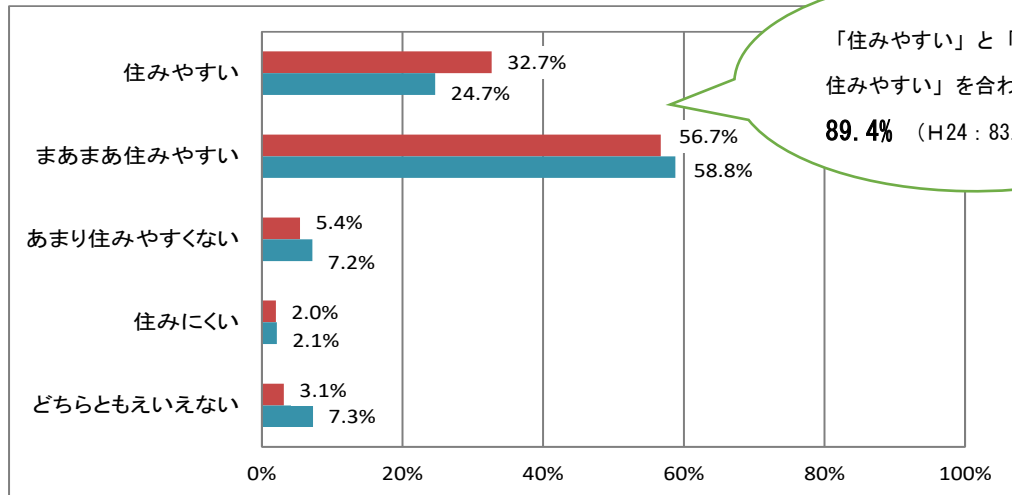
Ⅱ. 市民満足度調査の結果概要

(1) 出雲市の住みやすさ・定住意向

●出雲市の住みやすさについて、どのようにお感じですか。

今回 (R3) —

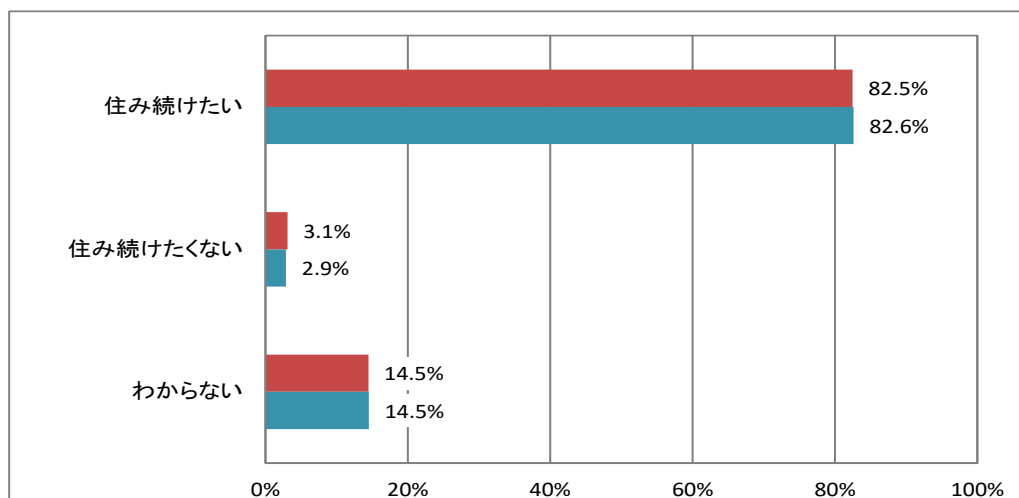
(H24) —



●これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。

今回 (R3) —

(H24) —



約9割の方が「住みやすい（まあまあ住みやすい）」と回答
H24から約6%増加

- 「住みやすい」と回答した人の割合は32.7%で、平成24年度調査と比べて8.0ポイント増加しました。「まあまあ住みやすい」とあわせると、回答者の89.4%が「住みやすい」と回答しています。
- 「これからも出雲市に住み続けたい」と回答した人は82.5%で、平成24年度調査（82.6%）と同程度となりました。

(2) 市の施策・取組についてのニーズ度（重要度・満足度）

■ 各施策の重要度、満足度について、アンケート調査結果を点数化することによって評価
 ≪各項目ごとに色分け≫

都市基盤・機能について	生活環境について
産業・経済について	安心・安全について
教育・文化について	まちづくり、行政サービスについて
健康・福祉について	

① 【重要度 上位10項目】 ※重要度が高い順

令和3年度 重要度上位10項目	点数	平成24年度 重要度上位10項目	点数
消防、救急体制の充実・強化	87.0	病院、診療所等の充実	85.8
義務教育(小中学校)の充実	84.8	消防、救急体制の充実・強化	83.7
防災体制の充実・強化	84.6	防災体制の充実・強化	80.2
病院、診療所等の医療施設の充実	84.4	幼児教育、義務教育	79.5
ごみの収集、減量やリサイクルなどの取組	80.7	就職支援の取組み	77.7
子育て支援の充実	79.9	ごみの収集、減量やリサイクル	75.3
保健施策の充実	79.8	保健施策の充実	73.8
防犯に関する取組	79.0	子育て支援の充実	73.8
交通安全対策の充実	77.9	交通安全対策の充実	72.6
幼児教育の充実	77.4	防犯に関する取組み	72.4

- 今回調査と平成24年度調査のどちらも、重要度が高い上位10項目のうち4項目を「安心・安全」分野が、3項目を「健康・福祉」分野がそれぞれ占めています。
- 平成24年度調査と比較すると、「就職支援の取組」が上位10項目から外れています。

② 【満足度 下位10項目】 ※満足度が低い順

令和3年度 満足度下位10項目	点数	平成24年度 満足度下位10項目	点数
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	△ 34.0	就職支援の取組み	△ 46.3
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	△ 27.8	新エネルギーの利用促進	△ 37.5
就職支援の取組	△ 22.3	バスの利用しやすさ	△ 35.0
周辺地域の整備	△ 21.0	企業誘致の取組み	△ 31.5
企業誘致による雇用の拡大	△ 18.9	歩道整備などバリアフリー	△ 30.0
義務教育(小中学校)の充実	△ 18.8	観光客誘客	△ 26.7
農業振興の取組	△ 17.3	定住促進に関する取組み	△ 25.9
公共交通機関(JR)の利用しやすさ	△ 16.5	林業振興の取組み	△ 25.8
高速道路など広域的な道路網の整備	△ 16.4	商工業振興の取組み	△ 23.6
林業振興の取組	△ 13.9	観光施設の整備、活用	△ 22.7

- 「都市基盤・機能」分野と、「産業・経済」分野の満足度が低い傾向にあります。
- 「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」は、点数としては平成24年度と大きくは変わりませんが、今回調査では満足度が最も低くなっています。
- 下位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が7項目から4項目に減少する一方で、「都市基盤・機能」分野が2項目から5項目に増えています。

③ 【ニーズ度 上位10項目】 ※ニーズ度＝①重要度-②満足度

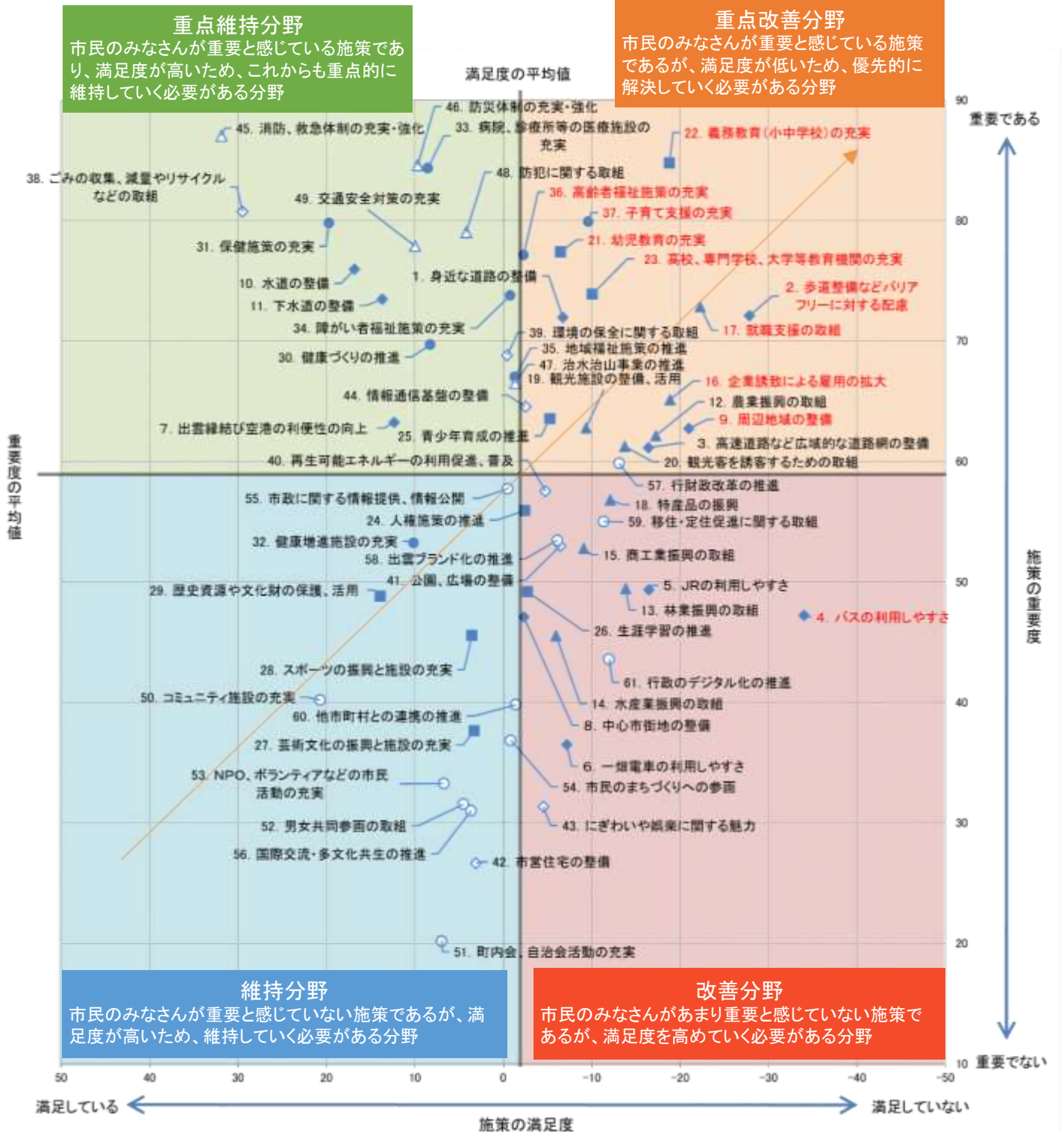
令和3年度 ニーズ度上位10項目	点数	平成24年度 ニーズ度上位10項目	点数
義務教育(小中学校)の充実	103.5	就職支援の取り組み	124.0
歩道整備などバリアフリーに対する配慮	99.9	新エネルギーの利用促進	98.5
就職支援の取組	95.1	歩道整備などバリアフリー	95.2
子育て支援の充実	89.5	観光客誘客	93.1
企業誘致による雇用の拡大	84.0	企業誘致の取り組み	90.9
高校、専門学校、大学等教育機関の充実	84.0	観光施設の整備、活用	86.4
幼児教育の充実	83.9	子育て支援の充実	86.1
周辺地域の整備	83.7	定住促進に関する取り組み	82.4
公共交通機関(バス)の利用しやすさ	81.2	高齢者福祉施策の充実	81.3
高齢者福祉施策の充実	79.4	幼児教育、義務教育	79.1

平成24年度調査において「産業・経済」分野に分類されている「新エネルギーの利用促進」は、令和3年度調査では同じ分野・名称の項目が無く、「生活環境」分野に「再生可能エネルギーの利用促進」という項目があります。

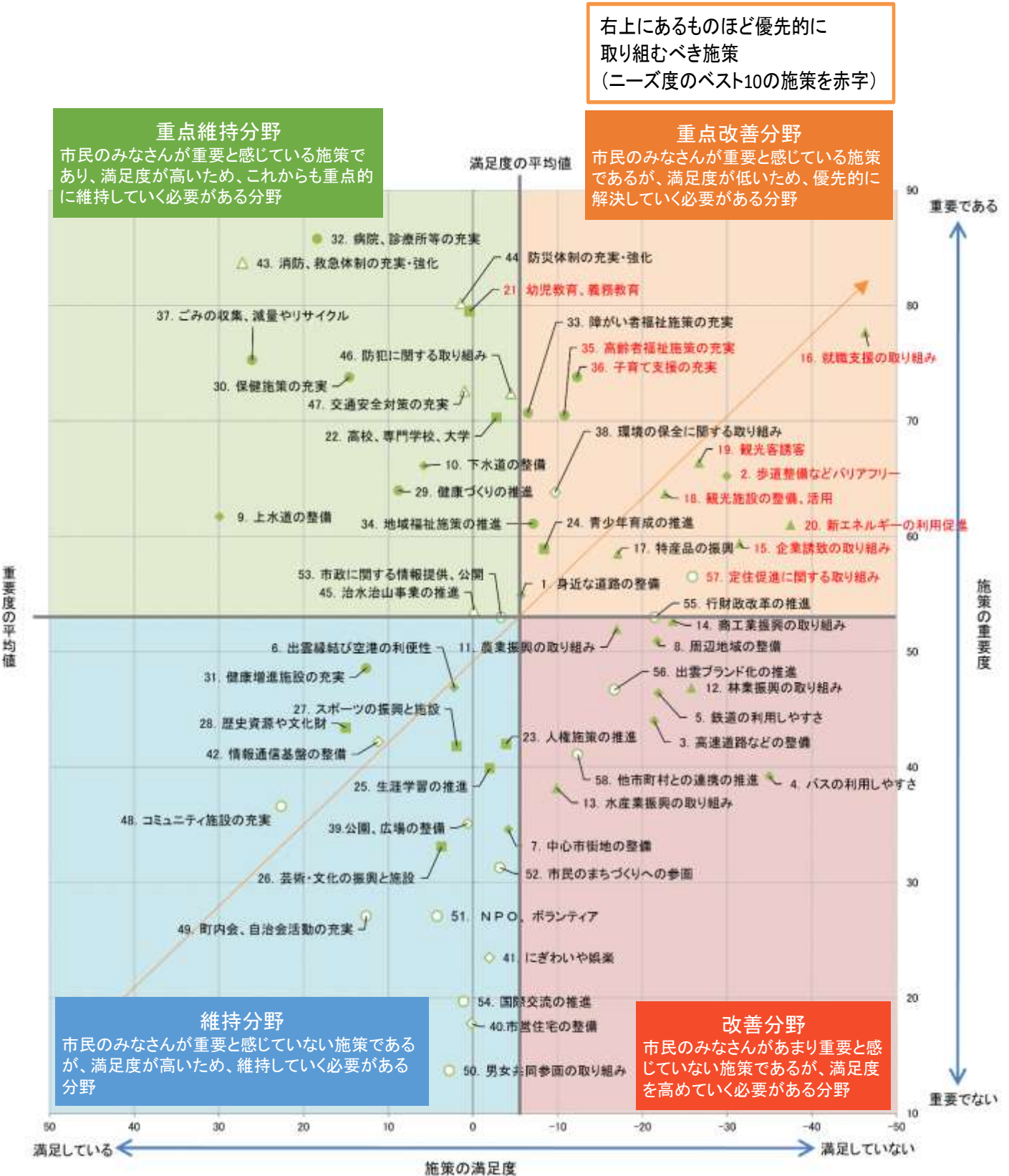
- 「都市基盤・機能」分野や「教育・文化」分野のニーズ度が高い傾向にあります。
- 上位10項目を平成24年度調査と比較すると、「産業・経済」分野が少なくなり、「都市基盤・機能」分野と「教育・文化」分野の項目が増えています。
- 項目ごとにみると、「高校、専門学校、大学等教育機関の充実」、「周辺地域の整備」、「公共交通機関(バス)の利用しやすさ」が新たに入り、「新エネルギーの利用促進、普及」、「観光施設の整備、活用」、「観光客を誘客するための取組」、「定住促進に関する取組」が外れています。

(3) 今回（令和3年度）のニーズマップ

右上にあるものほど優先的に
取り組むべき施策
(ニーズ度のベスト10の施策を赤字)



平成24年度のニーズマップ



Ⅲ. 高校生アンケート調査の概要

(1) 調査目的

市内の高校生を対象に、現在の出雲市や将来に対する思いや考え、まちづくりへの提案などについて調査し、次期出雲市総合振興計画策定のための基礎資料とします。

(2) 調査内容

- 個人属性（性別、居住地域）
- 出雲市に愛着、魅力・誇りを感じるか
- 出雲市の「良いところ、自慢や誇りに思うところ（もの・こと）」
- 出雲市の「不足しているところ、改善したほうが良いところ（もの・こと）」
- 出雲市に住み続けたいと思いますか ※出雲市在住者のみ回答
- 出雲市に住み続けたい、または一度は市外へ出て戻って住みたい理由
- 出雲市に住みたくない（市外に出て、出雲市には戻らない）理由
- 希望する居住地
- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組
- 出雲市長だったら、「めざしたいまち」、「取り組みたいこと」
- 出雲市の未来を表すキャッチコピー、キーワード

(3) 調査の対象・調査方法

市内の高等学校8校に通う3年生
学校を通じて調査票を配布・回収（回答は無記名）

(4) 調査実施時期

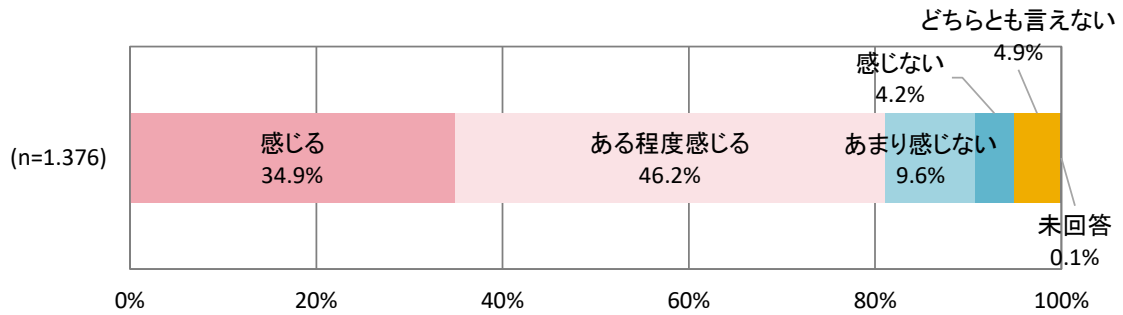
令和3年（2021）9月～10月

(5) 調査票回収状況

回収数：1,376人

IV. 高校生アンケート調査の結果概要

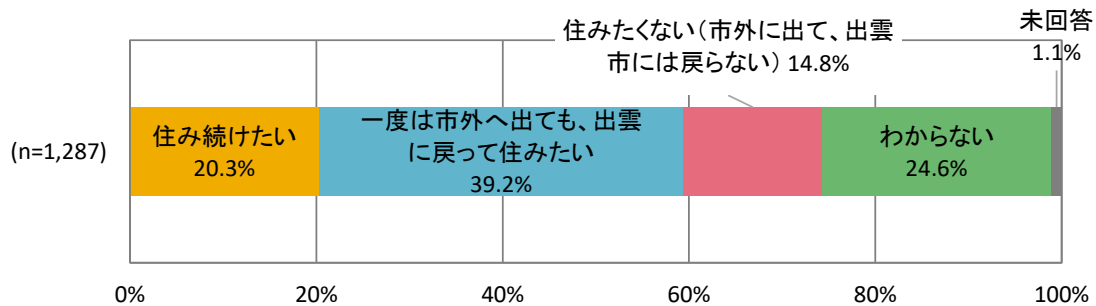
(1) 出雲市に愛着や魅力・誇りを感じるか



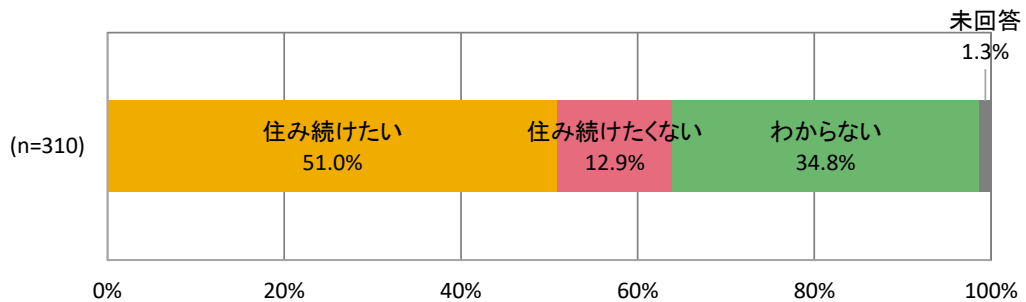
- 「ある程度感じる」が46.2%で最も高く、「感じる」とあわせると81.1%となり、全体の8割強が「愛着や魅力・誇りを感じる」と回答しています。

(2) 出雲市への定住意向

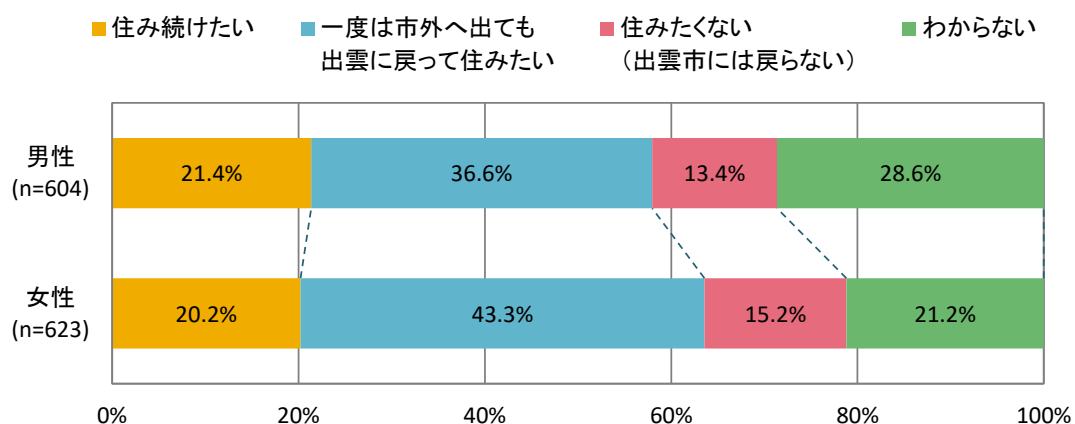
- これからも出雲市に住み続けたいと思いますか。(出雲市にお住まいの方のみ)



参考：平成24年度調査



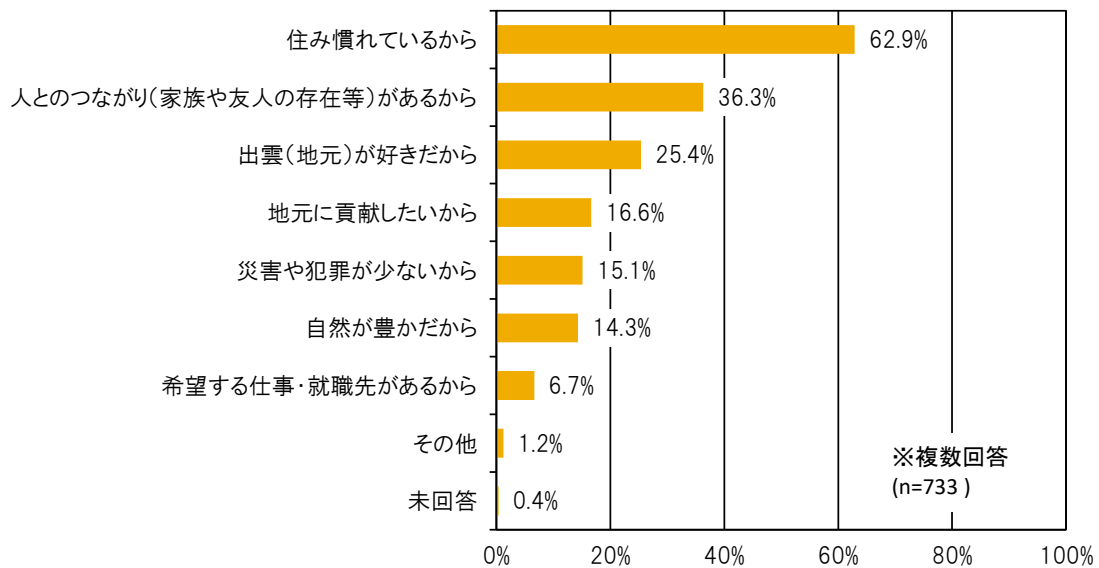
【男女別】



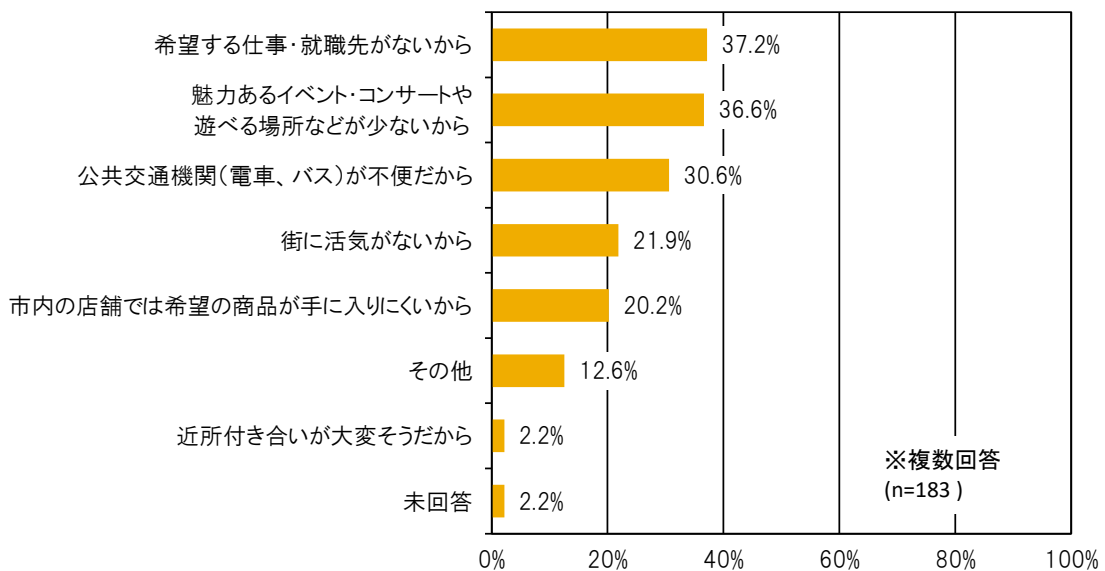
- 「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」が39.2%で最も多く、「住み続けたい」の20.3%と合わせると、全体の6割弱が定住意向を示しています。
- 男女別にみると、「住み続けたい」と回答した人が男性は21.4%、女性は20.2%であり、わずかに男性の割合が高くなりました。
- 一方、「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」と回答した人は、男性が36.6%、女性が43.3%と女性の割合が高くなり、「住み続けたい」と「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」をあわせると、女性の割合が高い結果となりました。



●出雲市に住みたい理由を教えてください。(出雲市に「住み続けたい」または「一度は市外へ出ても、出雲に戻って住みたい」を選択した方のみ回答)

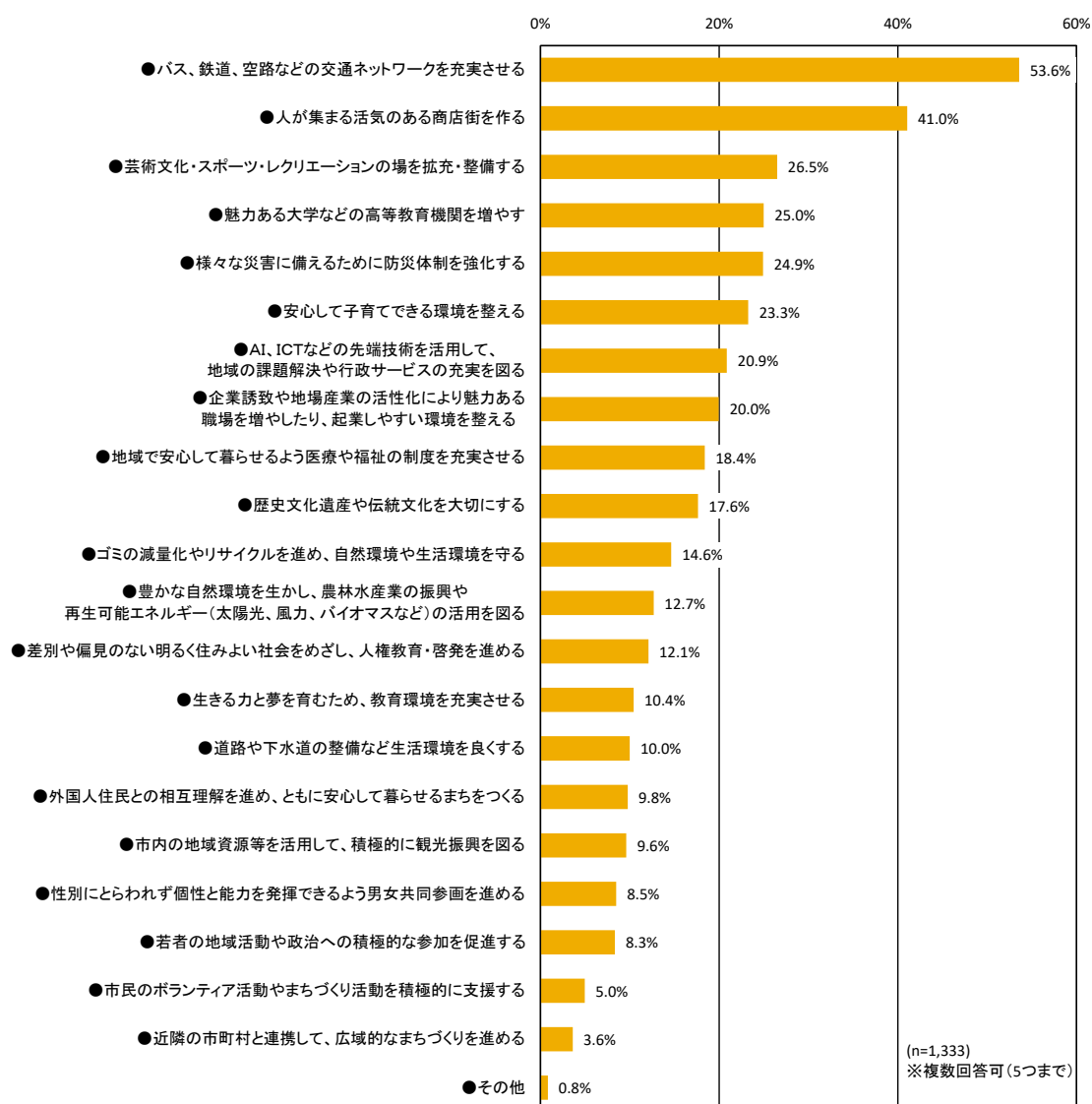


●出雲市に住みたくない理由を教えてください。(出雲市に「住みたくない(市外に出て、出雲市には戻らない)」を選択した方のみ回答)



(3) 将来の出雲市について

●今後の出雲市のまちづくりに向けて、あなたが重要だと思う取組は何ですか。(5つまで)



- 今後の出雲市のまちづくりに向けて、重要だと思う取組としては、「バス、鉄道、空路など交通ネットワークを充実させる」が53.6%、「人が集まる活気のある商店街をつくる」が41.0%となっており、この2つが特に高くなっています。
- 続いて「芸術文化・スポーツ・レクリエーションの場を拡充・整備する」が26.5%、「魅力ある大学などの高等教育機関を増やす」が25.0%、「様々な災害に備えるために防災体制を強化する」24.9%などとなっています。